

UNITE  
FOR  
GOOD

2025～2026年度  
RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

WEEKLY REPORT

FEBRUARY.18.2026 第2175回

UEDA EAST  
上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長/山寺高太郎 幹事/倉島博 会報委員長/松山賢太郎

例会: 毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場: 上田東急REIホテル

事務局: 上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F

TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: [uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp](mailto:uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp)

## イニシエーションスピーチ



上條 和宏君  
(中部電力パワーグリッド(株)上田支社)

今日は、このような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。

私は長野県東筑摩郡朝日村の出身で、松本工業高校電気科を卒業後、昭和62年に中部電力へ入社。それ以来、長野県内の営業所や名古屋の本店などで勤務し、令和7年4月から上田支社長を務めています。

学生時代は、とにかく野球一筋でした。泥だらけになって白球を追いかけたあの頃の経験は、今振り返ると自分の価値観を形づくってくれた大切な時間でした。

「最後まで諦めない」「仲間を信じる」「地味な努力を積み重ねる」。社会人になってから、特に自然災害の現場対応や難しい判断が求められる場面では、この野球で学んだ精神に何度も助けられました。

高3のときには信濃毎日新聞に初めて自分の写真が載りました。春の大会で長野県準優勝し北信越大会に出場したときの記事です。1回戦で石川県の金沢高校と対戦し延長戦の末に敗れてしまいました。当時は足が速かったので3番センターを務めていました。夏の大会はベスト16で敗退し甲子園には届きませんでしたが、それから24年後、母校が平成22年に甲子園へ初出場したときは、自分のこと以上に嬉しく、胸が熱くなりました。

さて、今日は「電力事業について」をテーマに、皆さまの暮らしに欠かせない一方で、意外と知られていない「送配電の世界」について、いくつかお話をさせていただきます。

日本の電力システムは、この十数年で大きく変わりました。まず第1段階として、全国規模で電力を融通し合うための「電力広域的運営推進機関」が設立されました。第2段階では、電力の小売りが全面自由化され、皆さまが電力会社を選べるようになりました。そして第3段階として、発電・小売と送配電が法的に分離され、私たち中部電力パワーグリッドは「電気を届ける」役割を担う会社として独立した形になりました。

また、2023年4月には組織改編があり、上田営業所は

上田支社として新たにスタートしました。上田支社は東信地域（北は坂城町から南は川上村まで）、16市町村を管轄し、日々電気をお届けしています。

皆さまにとって電気で最も身近な問題といえば、やはり「停電」かと思います。停電が起きた際は、まず「どこで停電しているのか」を確認します。住宅単位か、地域全体かを、情報・センサー・スマートメーターなどで把握します。次にスタッフが現場に向かい、電線の断線や電柱の損傷などを確認します。そして病院や消防、警察、避難所、高齢者施設といった命に関わる施設を優先して復旧していきます。設備に被害がある場合は修繕工事を行い、順次停電が解消されていきます。

なお、電柱には「50ア722」のような番号が付いています。異常を見かけた際にこの番号をお伝えいただけると、場所を素早く特定でき、復旧が格段に早くなります。皆さまからの情報は本当にありがたいものです。

近年は大雨・台風・地震が増え、電気設備への影響も大きくなっています。昨年9月に、上田東RC主催で行われた「地域の防災・減災」をテーマにした救急救命講習会でも、上田市危機管理防災課の皆さんが、台風19号での被害写真を展示されていました。特に千曲川の決壊により長野市豊野地区が甚大な被害を受け、復旧は非常に困難でした。他県から1,000人規模の応援をいただき、復旧工事にあたりました。

大規模災害時には、他電力会社から「プッシュ型」の応援も入ります。いわば「電力版の広域消防団」のような体制で復旧作業を進めます。行政との連携も欠かせず、長野県と県内77市町村と防災協定を結び、災害時の迅速な対応に努めています。

最後に、皆さまにぜひ活用していただきたいのが「停電情報お知らせサービス」です。離れて暮らすご家族の停電状況の把握や、災害時の近くの避難所の確認など、防災や安心の面で非常に役立つアプリです。

電力会社の仕事は、一見すると「当たり前前の日常を当たり前前に支える地味な仕事」に見えるかもしれませんが。電気は、皆さまの暮らしにとって「空気のようなもの」です。だからこそ、「当たり前に使えること」をなによ

り大切にしています。上田支社として、これからも東信地域の皆さまと共に、安全で安心して暮らせる地域づく

りに貢献してまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。本日はご清聴、ありがとうございました。

**例会日誌** 2月18日(水) 晴れ 2025～2026 No.26

- 司 会 西森勇太君
- 斉 唱 「あしたはもっと」
- ラッキー賞 丸山浩治君(季節のアレンジ花)
- 友 愛 賞 高野智宏君(蓑輪君福島のお土産)

**■会長挨拶** 山寺 高太郎 会長



各大学の入試もそろそろ終わりに近づいています。卒業証書のチラミセの話題もすこし下火になってきました。

五色の虹という題名のノンフィクションを三浦英之という作家さんが書きました。この本の内容は当時の列強国と同様に、かつロシア帝国の南下侵攻を恐れ日本が中国大陸に進出し満州国を設立した当時の理想主義に基づいて建学された大学とその学生たちの話です。

昭和13年(1938)5月、中国の新京(現長春市)で満州建国大学が創立。板垣征四郎、石原莞爾の発案による国立大学です。入学競争率は100倍以上で、日本民族、中国民族、朝鮮民族、モンゴル民族、ロシア民族の五族協和、道義的世界指導者、学問の自由が基本理念であり、入学後は差別も区別もなく、ディスカッション主体で試験なし、全寮制、学費なし、五円/月支給というスーパーエリート学校でした。そして、日本民族は、満州国の指導民族としてうぬぼれているが、むしろ責任民族たる自覚を持って!と教わったとのこと。そして、昭和20年8月大日本帝国の敗戦・終焉と共に廃校となります。しかし、その卒業生や在学生達の戦後は悲壮にして壮絶なものだったようです。もちろん、運がよくかつ努力の末に各国の指導的に地位についた方も当然おられます。

私の知っている限り、その大学に上田からも入学している人がいます。彼は、敗戦とともにシベリアに抑留され仲間の身代わりとなって厳しい気候や環境の抑留生活を続け、他の抑留者より遅れ、やっと日本に帰り着き、その後、上田柔道協会の会長や市会議員を歴任しますが、決してその当時の話を表に出さずひっそりと亡くなってしまいました。大変残念に思っています。

もし、今もそんな大学が存続していたとしたら現在の日中、日露、日韓の問題も、もっと融和的に解決していたのではないかと思います。

私達が、今「平和と自由」を手にしていただけるのもそんな人々のお陰かと思いつつ、大事にして行かないといけないと思っています。

**■幹事報告** 倉島 博 幹事

- ・第24回国際ロータリー 台湾囲碁大会のご案内が届く。
- ・さくら国際高校より卒業式のご案内が届く。

- ・「新生上田市誕生20周年」PR特集への広告依頼が届く。
- ・5クラブ親睦ゴルフコンペのご案内が届く。5月31日

**■出席報告**

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	52	50	19	—	62.00%
前々回	52	50	25	19	88.00%

**ニコニコBOX** (敬称略)

上原、上條、工藤、久保、倉島、後藤、小林、佐藤、関高野、滝澤(修)、竹花、田守、塚田、手塚(た)、西森橋詰(洋)、舟見、水出、蓑輪、宮下(博)、母袋(創)母袋(卓)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、渡辺

- ※後藤正直君/上條さんの卓話、楽しみにしています。
- ※蓑輪佳明君/上條和宏君、スピーチ楽しみです。
- ※上條和宏君/本日スピーチさせていただきます。よろしくお願ひします。
- ※母袋卓郎君/辛口のお酒をいただいて。アツという間にカミさんと娘が美味しく頂きました。
- ※渡辺敏成君/本日誕生日でした。特にイベントもなく夜またここで医療センターの会議に来ます。
- ※工藤 恒君/2人目の孫が無事にお食い初めを祝いました。すくすく育てほしいです。
- ※塚田泰裕君/3月7日「真田ファンの集い」参加お願ひします。
- ※母袋創一君/息子家族が上田へ転居することに。ただし、東京へ通勤です。

本日の金額/32,000円 累計/825,000円

**●何かをやってみよう会～小諸漫遊記～ 2月11日(水・祝)**

3月の高岡西RCとの交流会の下見も兼ねて、小諸方面で美味しいものを食べる企画が開催されました。

小諸本陣主屋でランチのあと小諸蒸留所を見学。田中のジンギスカン万蔵で夕食。盛りだくさんの楽しい時間となりました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

